

6-17

調査研究報告書第 / 号

調 査 研 究 報 告 書

(そ の 1)

昭 和 3 7 年 度

中 央 職 業 訓 練 所



編集にあたって

昭和36年4月1日職業訓練に関する調査研究並びに職業訓練指導員の訓練を行なうため、中央職業訓練所が設置され、前者の業務を担当するものとして同日調査研究部が発足した。

翌37年度に到つて業務に対する予算的裏付けがなされ、I.L.O. 訓練資料のほんやく、作業分析訓練効果の測定、訓練生の素質並びに選考方法、単純反復作業の練習曲線と準備性適時性に関する予備実験、転職者訓練実態調査等を本格的に開始、ここにその1部を「調査研究報告書」としてとりまとめた。

本報告は37年度調査研究のうち、中央職業訓練所及び附属総合職業訓練所の訓練生の素質並びに選考方法に関する考察中間報告、単純反復作業の練習曲線と準備性適時性に関する予備実験の結果、報告

転職者訓練実態調査結果報告をまとめた。

作業分析についてはその2で、訓練効果の測定についてはその3で発表する。

この報告書に含まれる調査研究はいずれも中間報告であつて研究者はその欠点、不十分は点を知つてはいるのであるが、今後継続研究をしようとするものだけに、真摯な気持で御批判を仰ぎ、今後の充実を期させて頂きたいと思う。

なお転職者訓練実態調査に当り回答を寄せられた各事業場には紙上より厚く御礼申しあげる。

目

次

中央職業訓練所及び附属総合職業訓練所の 訓練生の素質並びに選考方法に関する考察 中間報告 1 ~ 13
単純反復作業の練習曲線と準備性適時性に 関する予備実験の結果報告 14 ~ 36
転職者訓練実態調査結果報告 37 ~ 122